

ライオンズクラブ国際協会337C地区1R2Z



さが 葉がこれ LC 会報

1984年12月 No.40



L山田 猛会長のスローガン
住みよい郷土 心の奉仕

ライオンズデー S.59.10.8

赤い羽根共同募金 於 佐賀玉屋前

国際会長 テーマ
(奉仕の声に答えよう)

337-C地区 スローガン
(老人に愛情と生きがいを)

ガバナー神尾広海 提言
(初心にかえり 実のある奉仕を)

【 目 次 】

ライオンズデー.....	1
例会幹事報告.....	2
母子連より一日お父さんへ感謝.....	5
マリトピアでの例会スナップ.....	6
家族会.....	7
松尾英光氏入会.....	9
15周年記念式典無事終了.....	10
発明考案賞受賞・全日本マスターズ陸上優勝(藤島虎雄さん).....	12
国際第1副会長の公式訪問.....	21
柔道協会へ優勝旗贈呈.....	23
誕生者(11月・12月).....	24
編集後記.....	25

(お願い)

2月は会員増強の月です

会員の皆さん 新しい仲間を紹介して下さい

会長 山 田 猛

葉がくれの伝統を守ろう

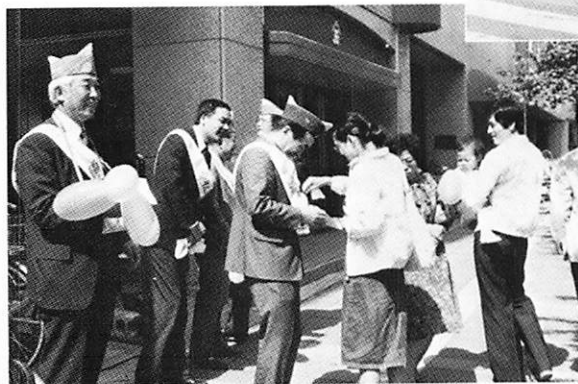
ライオンズデー

S59.10.8

佐賀玉屋前に於て、6クラブ合同の街頭募金活動をしました。



今年は共同募金活動を佐賀6クラブでの全員参加で時間割制にて実施しましたが当クラブからの参加も多く、盛大に終了することができました。



(株)松尾自動車工業

自動車鍍金塗装

佐賀郡久保田町徳万 TEL68-2231

松尾英光

葉がくれの伝統を守ろう

家族会スナップ集

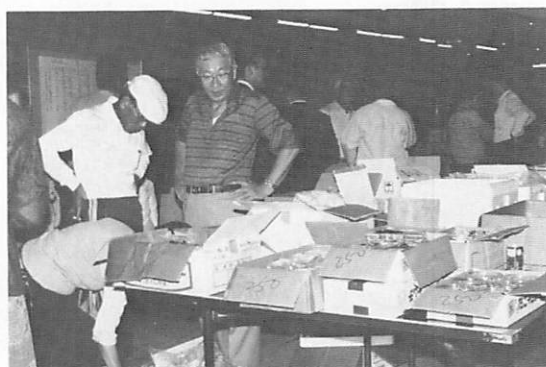
金魚すくいもありましたよ!



とってもうれしいライオンレディー



L中島辰雄食事担当も忙しい!



賞品は足りるかな!!



L西岡夫妻、子連れで頑張りました。



ライオンレディー入賞者

建築材料販売・住宅機器設備販売一式
外柵工事請負・スレート・タイル工事請負

神埼郡千代田町下西661 TEL44-2622

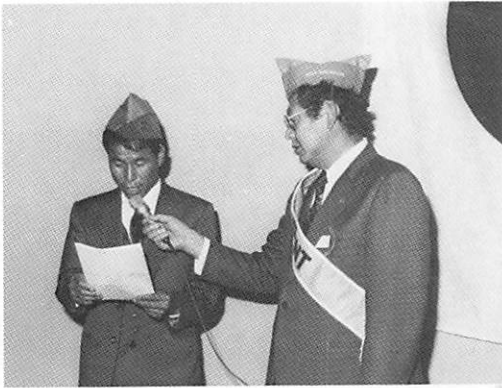
野口建材店

野口昌喜

第344回例会スナップ



メンバーシップキー賞のL原晴己とL西久保勇



松尾英光氏の
入会式

力強い宣誓



10月誕生者



誕生者及新入会員の祝い 葉がくれ会館で
会員同志のコミュニケーションが大切だ

日本石油株式会社販売店

直塚石油店

佐賀市末広二丁目9-8 TEL22-1166 〒840

直塚 政次郎



地区役員

歴代役員へ 感謝状



歴代会長



江島大会委員長



山田大会会長15周年式典無事終了に対するの御礼のあいさつ

有限会社 **日本バイオリズム**

佐賀市天神2-4-23ニュー天神ビル2F TEL29-7835

杠 共 芳

葉がくれの伝統を守ろう



10年以上皆勤者



歴代幹事



15年以上皆勤者



歴代会計

◆営業品目

コンボカーステレオ・パーソナル無線・
業務用無線・カーエアコン・カラオケ装
置・テーブ

佐賀市鍋島町大字八戸3056番地2

佐賀クラリオン(株)

TEL23-8105 佐藤 昭二郎

年代別で堂々の優勝

全日本マスターズ陸上 記録更新へ意気盛ん



表彰台で優勝メダルと賞状を受け晴れやかな表情の藤島さん(左)

藤島さんは先の第一回九州マスターズ(唐津市)でも同種目に14秒1で優勝しているが、今回はそれを下回る好

記録。この時は大会記録保持者の山崎代喜さん(三井本、14秒73)に勝ち、今回は13秒67の日本記録保持者、森

田真積さん(三井茨城、一九八三年)をも0秒2抑え、文字通り、日本一速い70男になった。ちなみに同大会の世界記録はレイド(三井アフリカー)が一九八〇年に出した13秒5。

七十代といっても、七十歳になったばかりで条件的には一番、体調もよかつたので内心、日本記録更新を狙っていたんだが、あいにく小雨模様でレース前のアツが十分できなくてね」と、大記録を逃してちょっとびり残念そう。

階高工業専門学校(現・中国時代)は11秒0をマークし、全高学生選手権のレコード保持者だった、という。帰国後は仕事一筋だったが、五十歳を迎えて健康ジョギングを開始以来、毎年県体にも出場、これまで五十代、六十代で常に優勝してきた。「再開後のベストは五十六歳の時の13秒6。一年ごと1秒ずつ遅くなっている。頑張らなきゃ」とますます意気盛ん。

70歳100歩を14秒0
佐賀市の藤島さん

中高年齢者の陸上競技大会、第五回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が七日、沖縄県・奥武山市宮陸上競技場で開かれ、七十代の部百々に初出場した、佐賀市水ヶ江二

丁目、中野建設専務の藤島虎雄さんが14秒0の大会新記録で堂々の優勝を飾った。

中・高年齢者の陸上競技大会の表彰式!!

建築工事 } 設計・施工一式工事 株式会社 横尾組
土木工事 }
管工事 }
佐賀郡諸富町大堂921-3 TEL 47-2802

葉がくれL C L 藤 島 虎 雄

“私の近況”続

○第三話 全日本マスターズ陸上競技選手権大会で優勝。

第一話は7月に私が全九州マスターズで優勝し、全日本2位の熊本の山室選手を14秒1の全九州新記録で破ったことで、事実上、私が九州一の足の早い70才男になった話でしたが今回は10月6、7日の両日、沖縄市で全日本のマスターズで優勝した続きのお話をいたしましょう。

第5回全日本マスターズ陸上競技選手権大会

5th All Japan Masters Track Meet.

日時——昭和59年10月6、7日。

場所——沖縄市営奥武山陸上競技場

九州一になった私に対して沖縄市で行なわれる全日本大会に是非出場する様にと進められた。佐賀市では当日、県民体育大会が行なわれる両日であったので、私はどうしようかと再三迷った揚句、遂にこの全日本大会に出場することに決心し、10月6日の飛行機で沖縄市に到着し、6日行なわれていた大会の競技の模様を視察した。大会々場は小雨が降っていたが、タータントラックの競技場だから競技は予定どおり実施されていた。

私の出番は明7日だから、その日は早目に宿舎のキャッスルホテルに引揚げて、明日の本番にそなえて作戦とスケジュールを立てた。翌7日も小雨が降っていた。雨は陸上競技には全く禁物である。(特に記録を狙う者には不運といわざるを得ない)天候丈は自然がなすわざであるから仕方がない。

私は雨具の用意をしてなかったので、ホテルからビニールの傘を借用し、空を眺め車に乗った。日曜日の朝だったので車の混滞がなく、約40分許りで、大会々場の奥武山陸上競技場に到着した。

会場では、時既に小雨の中を女子の年令別2000米の競技が開始されていて、ドン、ドン、とスターターのピストルの音が鳴っており、その都度カラフルの女子選手が走っていた。

観客席には大勢の観客がそれぞれ声援したりして、さすがに全日本マスターズだな

永 田 学 教 販

佐賀市高木瀬町高木1411-2 TEL31-3375 永 田 稔

あとという雰囲気盛り上っていた。

女子200米のあとは、男子100米が開始される、男子100米のこの種目が出場者が一番多い。第一次予選のタイムのよい者上位8名丈が、決勝進出できる仕組になっている。

私は私のスケジュール通り時間を見計って、服を脱ぎ、トレパン姿となり、雨の降らない処に行き準備体操からアップを始めた。幸いにも僅かの時間ではあったが、小雨が飛沫程度に細くなった時間を見計って、グラウンドに出て、ジョギングを始めることができた。そこで全力で試走してみたが、体が鈍くなっているのか、仲々体が重い様だ。3日程、練習を休んでいるせいかな？或は長旅の疲れか？体調がわからなかった。=大会ともなれば、色々と神経を使うものだ。

召集時刻10時50分近くなったので、慌ててスパイク片手に、召集場所に行ったら、少し私の到着が遅れたせいで私の組の一行は既にスタート案内人の引率でスタート地点の天幕に移動中であつた。=こんな大きな大会では時間を厳守するものだ、と感心した。

天幕内での待機約20分間に私は漏れたトレパンを脱ぎ、胸のゼッケン番号7004番をつけた、シャツを着け、そして10年以上も履き慣れたスパイクの紐をしっかりと締めなおした。そして軽い準備体操を繰り返していたが…アップ不足が気になっていたもので、競技が進行し、出番が刻々と分読みに近づいてきた。何組かの65才組が終わると、愈々我々70才以上組の決勝のスタートとなった。

愈々、天幕を出てスタート線に集合。選手達に改めて点呼があり、コースの再確認をした上で、スターティングブロックの取り付けが始まった。さあ決戦が始まるんだと思うと、私の胸は、もう動悸が早鐘の様になって至極緊張していた。私はブロックの取付けが終わると、起立して気を静めるため、ゴール地点を眺めて大きく深呼吸をした。咽喉が妙に乾いているのを感じた。

出発の時がきた。そして場内アナウンスで出場選手の紹介が始まった。選手達はスタート線5米手前に行儀よく並んだ。1コースから順に出場選手の紹介がなされた。紹介された選手は片手を挙げ、思い思いの恰好でその紹介に答えていた。5コースの森田真積選手については、この種目の日本記録保持者である旨を付け加えて紹介していた。6コースの羅選手については台湾の選手である旨もつけ加えて紹介された。私の場合は7コース藤島君。君。佐賀県と紹介した。私は右手を高く挙げ、一步前進してスタンドの観客にむけ軽く一礼をした。

有限会社 木村建設

諸富町石塚 TEL0952-47-2815 木村保男

礼をした。

私の胸の鼓動が息苦しい程高く響いているのを覚えた。さあ、スタート開始だ。時、正に熟せり。赤い衣裳をつけた日本陸連のスターターが台上に上った。「位置について」私達は4～5歩、歩いてゆき、スタート線についた。私はブロックに左足を先に、そして右足と順に固定させた。そして両手をスタート線に置いた。

私は5コースの日本記録保持者森田選手をマークしつつ位置につき、精神統一し、呼吸を合わせていた。「用意」の声で私は腰をあげた。重心が両手に移った。待つこと1秒、2秒、3秒、「ドン」一斉にスタートダッシュだ。タツ、タツ、タツと私の持てる力が瞬発した。10米…20米…30米、横一線誰も見えない。アッ40米、森田選手が横目に見えていた。何糞負けるもんか頑張れ！頑張れ！私は両手を強く振り、上体を少し前屈みに全力を出して走り続けた。70米附近から森田選手が見えなくなった。

私の追込みがきいたのだ。そのとき勝つかも知れない？勝つぞ！勝つぞ！ゴールがそこに来た。あと10米、やった！！やった！！勝ったぞ！！と衝動を感じたとき、ゴールの白いテープを私の胸が切った。

その瞬間「私が優勝だ」と胸の裂ける程の嬉しさを感じた。その嬉しさのあまり、私はテープを切っても尚30米も、私の惰力で走り続けていた。後続の選手も私のあとから次々に走り続けてきた。走り終ってコースに戻った。場内は大きな拍手が湧いていた。私は大声を揚げて跳び跳びしたかった。私はその衝動を抑へて、走後の大きく乱れた呼吸をしながら微笑みを浮かべて、決勝点に引揚げてきた。この瞬間、この種目70才以上100米で九州一は勿論、日本一の一番早い男になった。早速新聞記者がまっけてインタビューを受けた。

暫くして、この種目100米競走の結果の発表があった。

- 1着 藤島虎雄——佐賀14秒0 大会新記録
- 2着 森田真積——茨城14秒2
- 3着 西内明義——高知14秒6
- 4着 鈴木力雄——宮城14秒7
- 5着 吉岡陸太郎——大阪16秒6
- 6着 上釜重雄——山口

預金高1兆24億円。
貸出額1兆円。
Fou You 精神で皆様に
おつとめさせていただきます。

福岡相互銀行 佐賀支店

支店長 善 明 正 人

葉がくれの伝統を守ろう

上記の様に私が14秒0の大会新記録で優勝し、日本記録保持者の森田選手を0.2秒の差をつけて破った。小雨が晴れて30分後に表彰が始まった。メインスタンド正前の表彰台には6位までの選手が登壇し、ファンファーレの吹奏の中で行なわれた。先づ最初に私が琉球衣裳を纏った沖縄美人が奉持してきた賞状を受けた。尚、上位3名はオリンピックの表彰の様に、金、銀、銅のメダルを一木大会副会長から、表彰台上の私達の首にかけて貰った。

私はこんな大きな大会の観衆の前で金メダルを首からかけて貰うなんて考へていなかったもので、何となく面喰った。

日本一になった私にあちこちから写真の攻撃にあい、嬉しい限りであった。佐賀県からやってきた選手達に囲まれて「お目出度う」と賞讃して貰って優勝の喜びの実感を味わった。中学、高校時代は勿論、その後でも日本一になった喜びを味わった事はない。私は70才で初めて日本一を味わった次第である。

この第5回全日本マスターズ陸上競技選手権大会での70才以上のこの種目では、私は今年70才になった許りだから、年令的には条件が一番よく、体調もよかったので、一発を狙っていたが相憎くの前日からの小雨に遭い、レース前のアップが満足する程十分に出来ず、もう一步記録が延びなかった。14秒0の大会新記録—(従来の記録は山室登代喜選手の14秒73)で優勝し、日本一になったものの、雨が降っていなければ!!と今日になっても悔まれてならない。



ビル清掃管理業務
給水設備清掃管理業務
一般廃棄物処理業務
浄化槽清掃維持管理業務
公共下水道、污水管洗浄清掃管理業務

株式会社 **昭和衛生ビル管理センター**
専務 小部 力
佐賀市神野町東3丁目

全日本マスターズ陸上競技選手権大会



第5回 全日本マスターズ陸上競技選手権大会

場 所 沖縄市奥武山市営競技場

日 時 昭和59年10月7日

○表彰 1着 藤島(佐賀) 14秒0 大会新記録 4着 鈴木(宮城) 14秒7
2着 森田(茨木) 14秒2 5着 吉岡(大阪) 16秒6
3着 西内(高知) 14秒6 6着 上釜(山口)



ゴール手前95m 附近の熱闘 先頭は藤島、2位森田(日本記録保持者) 3位西内、4位鈴木

シェル石油特約店
ダンロップ・ヨコハマタイヤ特約店
ナショナル カーエアコン } 販売、取付
・ルームエヤコン・日立、
クラリオン カーエアコン }

武 富 石 油

代表者 L武 富 武 人

TEL (0952) 30-6791

行事の記録集



L横尾DDGよりアインバック伝達



L本田茂昭に設立準備事務局長の辞令



中央の弥富会長と葉がくれ会長
L山田 猛



6クラブの各会長の募金活動（佐賀市玉屋前にて）

税理士北原康司事務所
行政書士北原康司事務所

佐賀通信教育センター
北原会計事務所

(所在地)佐賀市西魚町21番地1 (電話)(センター)23-2163 (事務所)24-3677

行事の記録集



佐賀県青少年柔道連盟へ



葉がくれ15周年記念事業として優勝旗を2本贈る



佐賀少年刑務所へ花の(カンラン)苗木200本贈

古 賀 印 刷

川副町鹿江 TEL 45-0129 古賀正裕

行事の記録集



葉がくれ15周年記念事業として諸富町商工会及母子連ヘントを各1張贈呈する



式典



出席者（葉がくれLC）

長崎中央LC20周年式典に出席する。

中村ストアー 店主 中村 定之

佐賀市天祐一丁目2の37 TEL23-6475

337C地区公式訪問 S59.10



国際第一副会長の公式訪問



長崎市に訪問される 会長及幹事 L小野誠委員長出席する

西部通信興業株式会社 山口 栄作

佐賀市大和町大字久池井1645 TEL62-1123

国際第1副会長、長崎訪門の際



役員と国際第1副会長



佐賀の会長、幹事と



国際第1副会長夫妻と神尾ガバナー夫妻



国際会長、東洋・東南アジア大会(札幌市)で会長のあいさつ

葬儀部門
造花部門
冠婚部門
商事部門

白蓮社
メモリードサービス造花部
玉姫殿
各種宴会等

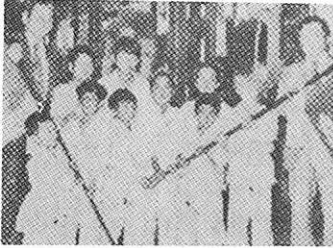
吉本文雄

佐賀市末広2丁目11-9

柔道協会に 優勝旗贈る

県柔道協会に
優勝旗贈る

佐賀葉がくれライオンズ
今年、結成十五周年を迎えた



佐賀葉がくれライオンズクラブ（山田猛会長、九十六人）はこのほど、佐賀市の県立体育館を訪れ、県柔道協会に優勝旗二本を贈った。

施設訪問や交通遺児の一日お父さんな青少年の育成に取り

ている。優勝旗は同体育館で練習をしている佐賀少年柔道クラブのチビっ子たちに手渡され、十一月二十五日に開かれる県少年柔道大会の優勝旗になる。竹下忠次協会長は「優勝旗が古くなっていたので何よりのプレゼント。子供たちの張り合いになるでしょう」と喜んでいる。

交通遺児を海外派遣

交通遺児を海外派遣
結成15周年で佐賀葉
がくれライオンズク

佐賀葉がくれライオンズクラブ（山田猛会長、九十六人）は佐賀市郡の交通遺児を北米やシンガポールに派遣し、海外生活を体験してもらおうと、希望者を募っている。

これまでは会員の子弟だけを対象にしていたが、ことし同クラブが結成十五周年を迎えたの

を記念し、北米アメリカがカナダに一人、シンガポールに一人を無料で派遣する。期間は来年七月中旬から八月末までの夏休み中。同クラブが世話をしたホスト家庭で、北米やシンガポールでの暮らしを体験する。

対象は佐賀市郡の交通遺児で、年齢は十六歳—二十一歳（卒業時）の男女。健康で英会話ができること。学生でなくてもよい。旅費などの費用は同クラブで負担する。

この企画に佐賀善意銀行も協力しており、希望者は今月二十日まで佐賀市松原一ノ三ノ一八佐賀新聞社内、佐賀善意銀行（電話1411）まで、書類審査や面接などで決める。

同クラブでは、このほか十五周年記念として日赤車一台、県柔道協会に優勝旗二本、軟式野球チームにユニホーム一式などもプレゼント。十一月十一日には佐賀市のマリトピアで十五周年記念式典を行う。

刑務所へ 葉ボタン贈る

葉ボタン贈る

青少年の健全育成に力を入れている佐賀葉がくれライオンズクラブ（山田猛会長、九十六人）は一日、佐賀市の佐賀少年刑務所（和智雅彦所長）を訪れ、葉ボタン二百本を贈った。#写真：動場の一角にある花壇に植える「受刑者の心のやすらぎになること」している。

これは「と昨年から贈っているもので、十二月から一月にかけて白や赤な美しい葉をつける。贈呈式で山田会長からビニール製の鉢に入った葉ボタンを受け取った和智所長は「社会へ出ることに不安と関心を常に抱いている受刑者にとって、こうした市民との心の触れ合いこそが、大変励みになります」とお礼を述べた。同所では早速運

種苗農業生産資材一般、卸・小売業、不動産貸付業。昭和16年、福岡県瀬高町本店より支店として現地にて山城農園佐賀支店として開業。昭和23年、通産省の指導により山城種苗株式会社として法人化すると共に独立する。昭和51年に亘り、不動産部門として貸ビル、貸倉庫、賃貸アパートを手がける。

山城種苗株式会社

山城 正 登

佐賀市唐人町1-5-37

行事の記録集



当クラブより誕生者には毎月
記念品を贈る



記念品を手にオオーと一叫び



12月誕生者

総合屋外広告看板 **応美社**

工場・自宅 佐賀市末広2丁目6-22(東芝北側) TEL (0952)25-2500 添野 福美



1984～1985年度 夏期Y E派遣学生選考会



L小野誠Y E委員長ごくろうさんです。

編集後記

早く編集して発行したいとは思っていましたが、15周年記念事業などでおそくなり申しわけないと思っています。次回の会報は15周年特集にして出したいと思っています。

PR委員長 北原康司
副委員長 野口信行
委員 薮内郁夫

佐賀葉がくれLC会報誌

発行日 昭和60年1月
編集 PR委員会
発行者 佐賀葉がくれライオンズクラブ
〒840 佐賀市松原町商工会館内
TEL 0952-24-5151
印刷所 福博印刷株
佐賀市兵庫町修理田72-2

テント・カンパン・インテリアの

(株) 佐賀テント 石崎充士

佐賀市巨勢町大字牛島179-1 TEL 24-8728

